

生態工学会 2020 年度第 3 回理事会議事録

日時：2021 年 2 月 18 日（木）9：30～12：00

場所：Web 開催（Zoom）

【総務委員会】

2020 年度総務委員会活動報告（2 月期）

(1) 会員数・賛助会員数について下記の通り報告があった。

会員数：2021 年 2 月 17 日現在（カッコ内は 2020 年 10 月 28 日からの増減）

終身会員 1 名（増減なし）

正会員 310 名（6 名増）

学生会員 76 名（1 名減）

合計 387 名（5 名増）

賛助会員数：4 団体 5 口（増減なし）

ダイキン工業株式会社(2 口)、ホテイ産業研究所(1 口)、

宇宙システム開発株式会社（1 口）、クリムゾンインタラクティブ(1 口)

(2) 審議事項

・下記の推薦依頼について、推薦者を募ることとなった。

令和 3 年度「日本工学会フェロー」の推薦について

第 37 回国際生物学賞受賞候補者の推薦について

「第 18 回（2021 年度）日本学術振興会賞受賞候補者」推薦について

(3) 報告事項

- ・日本農業工学会第 15 期役員として、大政謙次名誉会員を推薦することとなった。
- ・「日本農業工学会賞 2021」に候補者として 皆川秀夫会員 の推薦を行い、受賞が決定した。
- ・「2021 年度 日本農業工学会フェロー」に候補者として 増田篤稔会員、齋藤高弘会員 の推薦を行い、フェローの称号が授与された。
- ・当座の運転資金が不足したため定期預金の一部（300 万円）を解約し、普通預金に移した。

⇒定期預金を切り崩すのではなく、必要経費の節減、予算配分の見直しを行い、赤字抑えるようにすべきとの意見があり、今年度の収支が確定次第、経費・予算の見直しを行うこととなった。

※次回の理事会について

生態工学会 2021 年度第 1 回理事会は、5 月後半の開催で予定することとなった。

以上

【編集委員会】

2020年度編集委員会活動報告（2月期）

下記報告がなされた。

(1) 生態工学会誌の発刊

生態工学会誌「生態工学」32巻2号～33巻1号(2020年4月、7月、10月、2021年1月発刊)を発行した(内容:原著論文11、短報1、特別寄稿0、ニュース・企画・報告0、お知らせ、投稿規程、総ページ数95)。なお、2021年1月15日時点での査読・著者修正中の論文は、原著論文4報、短報1報、受理済み原著論文および短報0報である。

また、33巻1号までをJ-STAGE上の電子ジャーナルとして公開した。

2020年度「生態工学」掲載論文一覧

種類	第32巻			第33巻
	2	3	4	1
特別寄稿				
特集論文				
原著論文	2	3	3	3
短報	1			
総合論文				
解説・資料				
受賞記念寄稿				
ニュース・企画・報告				

(2) 学会賞の推薦

奨励賞として戸田清太郎氏の「クロロフィル蛍光画像計測ロボットを用いた日単位の茎伸長計測」(Vol. 32, No. 2)を推薦した。論文賞は宮内達也氏の「Weather generatorで生成した気象値が生態系プロセスモデルによるバイオマスおよび水収支推定に与える影響」(Vol. 32, No. 2)を推薦した。

以上

【企画委員会】

2020年度企画委員会活動報告（2月期）

下記報告がなされた。

(1) 2020年度生態工学会年次大会（主催）

日 時：2020年6月26日（金）～7月9日（木）

会 場：オンライン開催

参加数：約70名（6月26日のみ）

特記事項：総会、表彰式、受賞者講演、口頭発表セッション、懇親会をオンライン会議方式、ポスターセッションをWEB公開方式で実施した。一般研究発表セッションの口頭発表は10件、ポスター発表は13件であった。

(2) 第2回 生態工学サロン（主催）

日 時：2020年6月27日（土）

会 場：オンライン開催

参加数：30名強～40名弱

特記事項：次世代科学社会応援シンポジウム 2020と同時開催。

「宇宙時代の職業、そして基地の暮らし方 ～模擬ミッション経験を通して～」というタイトルで、村上祐資氏（極地建築家 NPO法人フィールドアシスタント代表）に講演頂いた後、総合討論を実施した。

(3) 日本地球惑星科学連合2020年大会（AGU合同開催）

日 時：2020年7月12日（日）～7月16日（木）

会 場：オンライン開催

主 催：日本地球惑星科学連合

特記事項：セッション「圏外環境における閉鎖生態系と生物システムおよびその応用」を提案し、口頭4件、ポスター5件の発表を予定していた。しかし、コロナ対応による開催形態の変更や日程の大幅な延期に伴い取り下げを検討・依頼したが、連絡と調整に時間を要したため、最終的に発表者各自の判断により、口頭枠で1件、ポスター枠で2件の発表が行われた。

(4) 「陸上養殖勉強会」アクアポニックス部会発足記念セミナー（支援）

日 時：2020年10月1日（木）

会 場：東京ビックサイト南展示棟南会議室B

主 催：「陸上養殖勉強会」アクアポニックス部会、生態工学会関東支部（共催）

特記事項：学会について幅広い分野の参加者に紹介できる上に、産業界との連携を得る機会にも繋がり、会員獲得の有効な活動であることから、企画委員会が積極的に支援した。

(5) 日本マイクログラビティ応用学会第32回学術講演会（JASMAC-32）（協賛）

日 時：2020年10月5日（月）～10月7日（水）

会 場：オンライン開催

特記事項：オンライン開催を生かした海外からの招待講演が5件あった。また、OS「宇宙

生物」で北宅会長と横谷副会長、OS「宇宙惑星居住実現に向けた化学工学の役割」で白石副会長、OS「宇宙での長期居住を可能とするために」で木村理事、「物質科学/宇宙資源利用」にて桜井理事が発表した。なお、JSMAC-32実行委員より当学会年次大会実行委員会にオンライン開催についての技術指導の依頼があり、事務局で対応した。お互いの学会が協力し合う良い前例となったと考えている。

(6) 第64回宇宙科学技術連合講演会（共催）

日 時：2020年10月27日（火）～10月30日（金）

会 場：オンライン開催

特記事項：OS「宇宙で生きる！～宇宙居住と物質循環～」と題して開催した。17件の発表があり、その内の1件は日本語が堪能なジェット推進研究所(JPL)の職員、もう1件は米国コロラド大学留学中の日本人学生で海外からの発表であった。内容は極限環境に関するシミュレーション、植物、藻類、培養肉を含めた食糧生産、先端的な物理化学的生命維持技術、レゴリスの利用、宇宙惑星居住化学の推進など生態工学会の成果を取り入れた学際的な発表の場となった。

今回はオンライン開催であったこともあり、学会誌に宇科連の発表内容をA4 1ページほどにまとめ提出した。

(7) 第3回 生態工学サロン

日 時：中止

特記事項：オンライン開催で検討を続けてきたが、コロナ禍により講師の調整が困難となったため、今年度は中止することとした。

(8) 定例研究会

開催内容を検討中

以上

【表彰委員会】

2020 年度表彰委員会活動報告（2月期）

下記報告がなされた。

(1) 受賞候補者の募集

募集期間:2020 年 4 月 1 日～11 月 30 日(学会誌, 学会ホームページ)

募集結果:推薦 5 名(学術賞 1 名,功労賞2名, 論文賞 1 名,奨励賞 1 名)

(2) 表彰委員による選考

下記のように提案があり、理事会で承認された。

生態工学会賞(学術賞):土肥 哲哉 氏

「バイオマス利活用の技術開発と普及促進」

生態工学会賞(功労賞):

伊能 利郎 氏

「生態工学会の運営と生態工学分野の普及に対する貢献」

田村 治美 氏

「生態工学会の運営と生態工学分野の普及に対する貢献」

論文賞:宮内 達也 氏

「weather generator で生成した気象値が生態系プロセスモデルによるバイオマスおよび水収支推定に与える影響」

奨励賞:戸田 清太郎 氏

「クロロフィル蛍光画像計測ロボットを用いた日単位の茎伸長計測」

以上

【広報委員会】

2020年度広報委員会活動報告（2月期）

下記報告がなされた。

(1) SEE Quick（メール配信）の運営

SEE Quick 配信依頼に対する取り扱い方法を通して、会員および関連学会からの情報の速やかな配信業務が成し遂げられ、2020年4月1日から2021年2月15日までに73回（1991より2063号）の情報提供を行った。円滑なSEE Quickの配信業務を行うとともに、問題点などを検証し改善に努める。また、会員からの有用な情報を迅速に配信できる体制を維持する。

(2) HPの内容の更新

迅速なHPの内容の更新と整備を行い、会員および一般の方への情報提供を行う。また、HPコンテンツ拡充のため、他学会HP等の内容を調査し、当学会HPの充実・改善に努める。

以上

【国際委員会】

2020年度国際委員会活動報告（2月期）

下記報告がなされた。

カセサート大学機関誌と生態工学会誌の相互閲覧を行うことで関係維持に務める。また、カセサート大学機関誌の送付状況の確認を行うこととなった。

以上

【次世代科学社会活性化委員会】

2020 年度次世代科学社会活性化委員会活動報告（2 月期）

下記報告がなされた。

- (1) 継続して男女共同参画学協会連絡会の運営委員としての活動を行っている。例年通り、今年度も秋の連絡会シンポジウムにポスターで参加することを予定していたが、新型コロナウイルス禍のため要旨集の参加のみとなった。
- (2) 当委員会が開催する次世代科学社会応援シンポジウム 2021 は、生態工学会年次大会にシンポジウムとして開催するべく準備を行っている。
確定し次第、HP の方にも掲載をお願いしたい。
- (3) 次世代科学社会活性化委員会の中の若手の会の組織交代の準備が進んでいるので、年会までに方向する予定である。現在は、会長 寺内氏（海洋大）の体制で進められている。

以上

【各支部活動】

2020 年度各支部活動報告（2 月期）

下記報告がなされた。

【関東支部】

関西支部シンポジウム開催のお手伝いを行いました。
企業会員誘致活動を継続してます。

・今後の活動

会員と企業会員の増員活動を継続いたします。

【東海支部】

<合同研究発表会>

支部会活動の活性化及び学会会員増強のため、2019 年度（名古屋市内開催）に引き続き、2020 年度は生態工学会東海支部、農業気象学会東海・北陸支部、生物環境工学会東海支部の合同研究発表会を、2020 年 11 月 26 日に Zoom meeting を使用したオンラインで開催した。13 時～17 時過ぎまで 13 題の発表がなされ、質疑応答を含め、会場の使用制限等を気にする必要のない有意義な開催でした。

【関西支部】

<合同シンポジウム開催>

ご案内させていただいております生態工学会関西支部大会は関東支部、企画委員会ご協力のもとオンライン開催の予定ですが、関西支部会員の皆様をはじめ、生態工学会全会員の皆様も**参加費無料**となっておりますので、奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

記

・日時：2021年2月19日(金) 13:30～16:00

(13:50 迄は関西支部会員限定、14:00 以降は全ての会員の皆さまも聴講可能とします。)

・場所：Zoom によるオンライン開催

【右のリンクより参加登録願ひます⇒<https://forms.gle/9GcgmgPELv8zXx78>】

※参加登録は**2月16日(火)迄**に願ひいたします。(後日 Zoom 招待メールをお送りします。)

・内容：

1. 関西支部総会 13:30～13:50(**関西支部会員限定**)

- (1) 支部活動報告&活動計画
- (2) 支部会員のご紹介等

————— 休憩(10分) —————

2. シンポジウム 14:00～16:00(**生態工学会全会員**)

「生態工学への企業からのアプローチ」

- (1) 開会の挨拶 生態工学会 会長 北宅善昭
- (2) 趣旨説明 実行委員長・関西支部長 伊能利郎
- (3) 講演 座長：実行委員 大阪府立大学 遠藤良輔

14:10-14:35 「社是「社会立社、技術立社」の精神に培われた取組紹介」

(株)日吉 中村昌文 氏

14:35-15:00 「東南アジアに於ける農業をベースとした資源循環への取り組み」

ヤンマーグローバルエキスパート(株) 松原武夫 氏

15:00-15:25 「植物工場への取組みで感じていること」

エスペックミック(株) 中村謙治 氏

————— 休憩(5分) —————

(4) 総合討論・パネルディスカッション

- ・テーマ「生態工学への企業からのアプローチ ～SDGs と生態工学～」
- ・話題提供&コーディネーター 伊能利郎
- ・パネラー (株)日吉 中村昌文 氏、

ヤンマーグローバルエキスパート(株) 松原武夫 氏、

エスペックミック(株) 中村謙治 氏、

関東支部長 玉川大学 増田篤稔 氏、

協和(株) 磯山侑里 氏、(株)荏原製作所 上田麻里衣 氏

(5) 閉会の挨拶 実行委員長・関西支部長 伊能利郎



【九州支部】

九州地区での会員募集を強化し、会員数の増加に努める。

【年次大会実行委員会 2021 生態工学会年次大会準備状況】

三重大学での現地開催を基本とし、感染状況によりオンラインに切り替える形で準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染状況の経過予測が難しいこと、また感染状況によっては三重大学の教室を借用するのが難しくなる可能性が生じることが指摘され、今年度もオンラインによる開催とすることが決定された。

開催日数に関しては、一般講演会の開催を行いたい等の意見があったため2日間での開催とすることとなった。

また、下記報告がなされた。

(1) 大会組織（敬称略）

大会委員長：村上 克介

実行委員長：加藤 浩

大会実行委員：寺添 斉（事務局）、遠藤雅人、増田篤稔、田村治美、土肥哲哉、
細井文樹、中根昌克

(2) 主要な締め切り一覧

内 容	期 日
オーガナイズドセッション企画案提出	2021年4月5日
一般発表セッション申込み	2021年4月26日
発表論文提出	2021年5月17日
事前参加費振込み	2021年6月11日

以上